



【 読書に対する興味が高まる取組 】

○ 今年度も、毎月2回、朝の10分間（8時15分～8時25分）、「ピッコログループ」「つばきの会」の地域ボランティアの方々による「読み聞かせ」が始まりました。この時間、子供たちは、ボランティアの方々の上手な読み聞かせに耳をすませて聴いています。



○ 学校生活の中で、読書の時間を設けることは、現在、なかなかできません。実際には、**国語の授業で読書の話**を取り上げたり、**図書委員が本の紹介**をしたりして、子供たちが読書に興味をもつよう働きかけています。また、学校には、**2名の図書館司書助手の方**がおられ、読書の推進にご尽力していただいています。読み聞かせも含め、このような働きかけによって、子供たちは本を借り、休み時間や家で読書することが中心となります。

○ 図書室前の廊下には、下の写真のような掲示がしてあります。「運動会の始まりは、明治7年3月。」「どうして運動会には『赤』『白』があるの？」などと書かれています。これを読むと、運動会について興味が高まります。すると、運動会に関する本を読みたくなります。図書館司書助手の方には、このような工夫した働きかけをしてもらっています。このように多くの方々の力や取組のおかげで、読書に対する興味が高まります。ありがとうございます。



拡大